

厚生労働大臣 殿

学校法人兵庫医科大学
理事長 新家 莊

兵庫医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	134.2 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	317人	225人	340.2人	看護業務補助	104人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	13人	10人	15.6人	理学療法士	21人	臨床検査技師	88人
薬剤師	57人	6人	58.1人	作業療法士	10人	衛生検査技師	0人
保健師	1人	0人	1.0人	視能訓練士	8人	その他	1人
助産師	18人	0人	18.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	763人	18人	775.1人	臨床工学技士	11人	医療社会事業従事者	11人
准看護師	4人	0人	4.0人	栄養士	0人	その他の技術員	11人
歯科衛生士	5人	0人	5.0人	歯科技工士	3人	事務職員	95人
管理栄養士	7人	2人	8.5人	診療放射線技師	43人	その他の職員	38人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	720.0人	9.1人	729.1人
1日当たり平均外来患者数	2291.0人	96.4人	2387.4人
1日当たり平均調剤数	2628.0剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
31P一磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍搔爬術後若しくは骨髄炎搔爬術後の症状に係るものに限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類 I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	人

無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。)及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。)が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
--	---------------------------------------	---

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	30人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(ブルー・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHIF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	72人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	10人
・多発性硬化症	55人	・ウエゲナー肉芽腫症	9人
・重症筋無力症	54人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	57人
・全身性エリテマトーデス	336人	・多系統萎縮症	20人
・スモン	2人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4人
・再生不良性貧血	57人	・膿疱性乾癬	9人
・サルコイドーシス	31人	・広範脊柱管狭窄症	48人
・筋萎縮性側索硬化症	12人	・原発性胆汁性肝硬変	35人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	203人	・重症急性膵炎	9人
・特発性血小板減少性紫斑病	73人	・特発性大腿骨頭壊死症	18人
・結節性動脈周囲炎	28人	・混合性結合組織病	36人
・潰瘍性大腸炎	1016人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	16人	・特発性間質性肺炎	1人
・ビュルガー病	13人	・網膜色素変性症	24人
・天疱瘡	8人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	39人	・原発性肺高血圧症	0人
・クローン病	778人	・神経線維腫症	6人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	22人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・パーキンソン病関連疾患	208人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	1人
・アミロイドーシス	7人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	68人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	原則毎週水曜日に開催している 1ヶ月間の平均回数は3回		
剖検の状況	剖検症例数	41 例	剖検率 6.4 %

1 研究補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	金額	補助元又は委託元
治療関連合併症を減少させて同種造血幹細胞移植後の生存率の向上を目指す標準的治療法の開発研究	池亀 和博	1,000,000円	補助元: 厚生労働省
			委託元:
スフィンゴシン1-リン酸受容体制御による間接リウマチ治療	佐野 統	1,560,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金
			委託元:
破骨細胞の分化誘導と活性化におけるS1P/S1P1シグナルの役割	北野 将康	1,950,000円	補助元: 文部科学省 科学技術振興機構
			委託元:
FTY720投与によるSKGマウスにおけるTregへの影響と関節炎抑制効果	常見 幸	2,210,000円	補助元: 文部科学省 科学技術振興機構
			委託元:
肝炎ウイルスにより惹起される炎症性誘発要因及びウイルス増殖に対する人的制御による肝炎制圧	西口 修平 (千葉工業大学 下遠野邦忠)	6,000,000円	補助元: 厚生労働省
			委託元:
肝発癌制御を視野に入れた肝硬変の栄養療法のガイドライン作成を目指した総合的研究	西口 修平 (岩手医科大学 鈴木一幸)	1,000,000円	補助元: 厚生労働省
			委託元:
核内受容体蛋白を分子標的とした肝癌化学予防に関する研究	西口 修平 (岐阜大学 森脇久隆)	1,000,000円	補助元: 文部科学省 科学技術振興機構
			委託元:
進行肝細胞癌に対する集学的治療確立に関する研究	中村 秀次 (大阪大学 門田 守人)	500,000円	補助元: 厚生労働省
			委託元:
肝癌由来増殖因子と受容体の発現・活性化調節による肝癌増殖の制御	中村 秀次	1,950,000円	補助元: 文部科学省 科学技術振興機構
			委託元:
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	松本 誉之 (東京医科歯科大学 渡辺 守)	1,500,000円	補助元: 厚生労働省
			委託元:
炎症性腸疾患の発癌サーベイランスにおける腸管免疫異常と慢性疾患の意義	松本 誉之	1,500,001円	補助元: 文部科学省 科学技術振興機構
			委託元:
熱ショック蛋白質の積極的誘導による新しい末梢免疫調節治療の基礎的検討	福永 健	1,800,000円	補助元: 文部科学省 科学技術振興機構
			委託元:
アスベスト関連疾患に対する総括的取り組み	中野 孝司	104,154,000円	補助元:
			委託元: 文部科学省 科学技術振興機構
アスベスト曝露と胸部悪性腫瘍を含む、がん発症リスクとの関連性についての前向き調査研究	福岡 和也	1,000,000円	補助元: (財)千代田健康開発事業団
			委託元:

悪性中皮腫発生抑制にかかわる遺伝子多型の検索	中野 孝司 福岡 和也 (代表 兵庫医科大学 玉置 知子)	160,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
肺線維症の予防および治療方法の新規開発	田端 千春	1,560,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
悪胸膜中皮腫の細胞・分子生物学的解析と癌幹細胞の同定	藤盛 好啓	1,560,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
筋強直性ジストロフィー症におけるリアノジン受容体機能・脳スプライシング異常の解析	芳川 浩男	780,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
消化管癒着・線維形成過程の分子機構解析・制御法開発と腸管星細胞探索の試み	藤元治朗	5,330,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
メカニカルストレス応答からみた肝再生・肝線維化の病態解析と肝臓器再生への応用	飯室勇二	2,210,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
切除不能高度進行肝細胞癌に対する化学療法併用腫瘍新生血管抑制治療法開発の検討	平野公通	2,210,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
おとり型核酸と肝細胞増殖因子を用いた放射線腸炎に対する治療効果の検討	王 孔志	1,950,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
肝内胆管癌組織に発現する細胞外マトリックスの機能解析とその臨床応用	宇山直樹	1,430,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
ヒト膵臓癌におけるシーエックスシーケモカインの検討(予後・背景因子・分化度)	佐竹 真	2,730,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
アルギニンの惹起する細胞内シグナル伝達の研究と肝再生促進療法への研究アプローチ	鈴木和夫	1,950,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
オンコスタチンM遺伝子治療による腸管の線維性癒着の克服	濱田哲宏	1,600,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
感染・炎症現象の解析と制御	藤元治朗	4,800,000円	補助元: 私立大学ハイテクリサーチセンター整備事業経費 委託元:
メカニカルストレス応答を軸とした肝再生・肝線維化の病態解析と再生への応用	飯室勇二	2,000,000円	補助元: 財団法人ひょうご科学技術協会 委託元:
科学的根拠に基づく胎児治療法の臨床応用に関する研究	奥山 宏臣 (代表 左合治彦)	5,000,000円	補助元: 厚生労働省 委託元: 国立成育医療センター

腸管機能障害で惹起される中心静脈栄養関連肝障害の肝細胞周期制御メカニズムの解明	田附 裕子	2,300,000円	補助元: 文部科学省 科学技術振興機構 委託元:
進行胃がんの生存率を向上させる標準的治療法の開発に関する研究	笹子 三津留	22,698,000円	補助元: 厚生労働省 委託元:
消化器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	笹子 三津留	4,000,000円	補助元: 厚生労働省 委託元:
肺癌手術中の循環血液中への腫瘍細胞遊離放出と術後遠隔転移再発の解析	奥村 好邦	2,080,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
肺癌における循環血液中腫瘍細胞と血管内皮細胞の臨床的探索的検討	田中 文啓	8,840,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
遺伝子変異を指標とした肺癌の高感度播種及びリンパ節転移感知システムの構築	多久和輝尚	1,950,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
膝関節3次元動作解析システムの確立と前十字靭帯損傷膝に対する応用	吉矢 晋一	650,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
発達期における骨格系と脳脊髄液循環動態の発生学的特性に基づく高次脳脊髄機能障害の治療及び総合医療に関する研究	吉矢 晋一	600,000円	補助元: 委託元: 厚生労働省 精神・神経センター
稀少難治性皮膚疾患調査研究	山西 清文	1,000,000円	補助元: 委託元: 厚生労働省
配偶子形成において特異的に発現する遺伝子の同定とタンパクの機能解析及び生殖補助医療への応用	香山 浩二	15,000,000円	補助元: 私立大学学術研究高度推進事業 委託元:
精子形成過程におけるTCTPの機能解析とアンドロゲンによる発現調節機構の検討	小森 慎二	700,000円	補助元: 文部科学省 科学技術振興機構 委託元:
卵巣組織の凍結保存と卵母細胞の培養系での成熟・受精・胚発生に関する研究	香山 浩二	3,000,000円	補助元: 文部科学省 科学技術振興機構 委託元:
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法の検討	寺田 友紀	724,500円	補助元: 委託元: 先端医療振興財団
膝神経節におけるTRP受容体ファミリーの機能解析	桂 弘和	1,950,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
局所療法適応外の肝細胞がんに対する頸動脈的治療法標準化(手技を含む)の研究	廣田 省三	1,000,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:

リハビリロボットを併用した脳卒中片麻痺上肢のハイブリッドCI療法	道免 和久	1,430,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
侵襲下骨髄細胞アポトーシス誘導と免疫抑制におけるTIRファミリーレセプターの役割	小谷 穰治	1,560,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
侵襲下腸粘膜細胞アポトーシス誘導におけるTIRファミリーレセプターの役割の研究	寺嶋真理子	600,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
非アルコール性脂肪性肝炎における非侵襲的、定量的機能診断法の確立	飯島 尋子	1,040,000円	補助元: 日本学術振興会 科学研究費補助金 委託元:
肝癌早期発見を目的とした分子マーカー及び画像診断システムの開発	飯島 尋子 (代表 東京医科歯科大学 有井滋樹)	2,500,000円	補助元: 厚生労働省 委託元:
特定疾患の微生物学的原因究明に関する研究	竹末 芳生	2,500,000円	補助元: 厚生労働省 委託元:
ヘリコバクター・ピロリ感染による胃発癌の修飾因子に基づく予防策の検討	福田 能啓	11,270,000円	補助元: 厚生労働省 がん研究助成金 委託元:

合計 50件

2 論文発表等の実績 平成20年度(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ann. Noninvasive. Electrocardiol	Sodium channel blockers enhance the temporal QT interval variability in the right precordial leads in Brugada syndrome 13, 74-80	金森 徹三	内科 循環器内科
Catheter. Cardiovasc. Interv	Novel use of ultrasound guidance for recanalization of iliac, femoral, and popliteal arteries 71, 727-733	川崎 大三	内科 循環器内科
Eur. J. Heart Fail	Beneficial effects of bisoprolol on the survival of hypertensive diastolic heart failure model rats 10, 446-453	増山 理	内科 循環器内科
Ann. Noninvasive . Electrocardiol	Beat-to-beat QT interval variability is primarily affected by the autonomic nervous system 13, 228-233	峰 隆直	内科 循環器内科
J. Am. Coll. Cardiol.	Frequency and predictor of coronary thin-cap fibroatheroma in patients with acute myocardial infarction and stable angina pectoris a three-vessel optical coherence tomography study. 52, 787-788	藤井健一	内科 冠疾患科
Exp.Hematol	Unmanipulated HLA 2-3 antigen-mismatched (haploidentical) bone marrow transplantation using only pharmacological GVHD prophylaxis. 36,1-8	小川 啓恭	内科 血液内科
Exp.Hematol	Recovery from established graft-vs-host disease achieved by bone marrow transplantation from a third-party allogeneic donor. 36,1216-1225	谷口 裕紀	内科 血液内科
Biol.Blood Marrow Transplant.	Unrelated umbilical cord blood transplantation using a TBI/FLAG conditioning regimen for adults with hematologic malignancies. 岡田 昌也	岡田 昌也	内科 血液内科
リウマチ科	スフィンゴシンキナーゼ(sphingosine kinase)と自己免疫疾患 40, 665-671	北野 将康	内科 リウマチ・膠原病科
Minophagen Medical Review	自己免疫疾患におけるスフィンゴシン1-リン酸(S1P)/S1Pレセプターシグナルの役割—関節リウマチとシェーグレン症候群を中心に— 53,135-145	北野 将康	内科 リウマチ・膠原病科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
兵庫医科大学医学会雑誌	スフィンゴシン1-リン酸(S1P)/S1P受容体シグナルの 関節リウマチ病態における役割 33,49-54	北野 将康	内科 リウマチ・膠原病科
臨床免疫・アレルギー科	腸管GVHDとTLR 49,274-279	今戸 健人	内科 リウマチ・膠原病科
J. Immunol	Role of sphingosine 1-phosphate in the pathogenesis of Sjogren's Syndrome. 180, 1921-1928	関口 昌弘	内科 リウマチ・膠原病科
Mod.Rheumatol.	Clinical investigation in highly disease-affected rheumatoid arthritis patients in Japan with adalimumab applying standard and general evaluation: the CHANGE study. 18, 252-262	佐野 統	内科 リウマチ・膠原病科
糖尿病	1型糖尿病患者の基礎インスリン補償におけるインス リングルルギンの有用性-NPHインスリンからのきり かえによる比較検討 51,983-990	勝野 朋幸	内科 糖尿病科
Diabetes Frontier	早期の2型糖尿病におけるインスリン分泌促進系薬 の費用対効果 19,378-391	紺屋 浩之	内科 糖尿病科
Medical Postgraduate	Urinary type I collagen crosslinked N-telopeptides in male patients with type 2 diabetes mellitus 46,29-34	紺屋 浩之	内科 糖尿病科
Gut.	A large-scale, multicentre, double-blind trial of ursodeoxycholic acid in patients with chronic hepatitis C. 56, 1747-53	西口 修平	内科 肝・胆・膵科
World J. Gastroenterol.	Serial changes in expression of functionally clustered genes in progression of liver fibrosis in hepatitis C patients. 14, 2010-2022	西口 修平	内科 肝・胆・膵科
Hepatol. Res.	The efficacy of ursodeoxycholic acid and bezafibrate combination therapy for primary biliary cirrhosis: A prospective, multicenter study. 38, 557-564	西口 修平	内科 肝・胆・膵科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatol. Res.	Optimal duration of additional therapy after biochemical and virological responses to lamivudine in patients with HBeAg-negative chronic hepatitis B: a randomized trial. 38, 954-959	西口 修平	内科 肝・胆・膵科
J. Surg. Oncol.	Response to interferon therapy affects risk factors for postoperative recurrence of hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma. 98, 358-362	西口 修平	内科 肝・胆・膵科
AJR Am.J. Roentgenol.	Real-time temporal maximum-intensity-projection imaging of hepatic lesions with contrast-enhanced sonography. 190(3), 691-695	飯島 尋子	内科 肝・胆・膵科
Int.J.Clin. Pharmacol.The	Acarbose alleviates rise in plasma uric acid concentration induced by sucrose ingestion. 46, 187-192	森脇 優司	内科 内分泌・代謝科
Nucleosides Nucleotides Nucleic Acids	Effects of allopurinol on beer-induced increases in plasma concentrations of purine bases and uridine. 27, 601-603	井野口 卓	内科 内分泌・代謝科
Clin.Chim.Acta	Effects of exercise and grape juice ingestion in combination on plasma concentrations of purine bases and uridine. 388, 167-172	華 常祥	内科 内分泌・代謝科
Dis. Esophagus.	Interobserver agreement in endoscopic evaluation of reflux esophagitis using a modified Los Angeles classification incorporating grades N and M: a validation study in a cohort of Japanese endoscopists. 21, 355-363	三輪 洋人	内科 上部消化管内科
J. Gastroenterol. Hepatol	Does magnifying endoscopy improve the diagnosis of erosive esophagitis? 23, 1063-1068	三輪 洋人	内科 上部消化管内科
Inflamm. Bowel Dis	Endoscopic and chromoendoscopic atlas featuring dysplastic lesions in surveillance colonoscopy for patients with long-standing ulcerative colitis 14,259-264	松本 譽之	内科 下部消化管内科
日本内科学会雑誌	炎症性腸疾患と発癌 97, 503-507	松本 譽之	内科 下部消化管内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
消化器と免疫	Prednisolonが潰瘍性大腸炎の末梢血中におけるRegulatoryCD25HighCD4+Tcellに及ぼす影響 (Granulocyte Monocyte Apheresis(GMA)への影響) 44, 62-65	横山 陽子	内科 下部消化管内科
日本呼吸器学会雑誌	悪性胸膜中皮腫の診断におけるMesothelin免疫染色の付加的価値 46,3-9	栗林 康造	内科 呼吸器、RCU科
Liver Int	All-trans retinoic acid ameliorates carbon tetrachloride-induced liver fibrosis in mice through modulating cytokine production 28,1217-1225	田端 千春	内科 呼吸器、RCU科
Environmental Health and Preventive Medicine	Current therapies for malignant pleural mesothelioma 13,75-83	中野 孝司	内科 呼吸器、RCU科
Proteomics	Proteomic analysis of hypoxia-induced tube breakdown of an in vitro capillary model composed of HUVECs: potential role of p38-regulated reduction of HSP27 8,2897-2906	藤盛 好啓	内科 呼吸器、RCU科
Exp. Cell Res	Possible involvement of caspase-6 and -7 but not caspase-3 in the regulation of hypoxia-induced apoptosis in tube-forming endothelial cells 315,327-335	藤盛 好啓	内科 呼吸器、RCU科
Int.J.Biochem.Cell Biol	Muscle-specific GSTM2-2 on the luminal side of the sarcoplasmic reticulum modifies RyR ion channel activity 40,1616-1628	木村 卓	内科 神経、脳卒中科
血液フロンティア	腎性貧血治療における鉄管理 18,223-230	中西 健	内科 腎・透析科
Vitamembrane	ビタミンE固定型ポリスルホン膜(VPS)を用いたAcetate free biofiltration(AFB)の抗酸化効果 8,35-40	倉賀野 隆裕	内科 腎・透析科
医工学治療	透析膜が心血管系合併症危険因子と患者生命予後に果たす役割 20,232-237	倉賀野 隆裕	内科 腎・透析科
Br. J. Dermatol	A novel point mutation of keratin 17(KRT17) in a Japanese family with pachyonychia congenital type 2: an RNA-based genetic analysis using a single hair bulb 159, 730-732	津田 達也	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Br. J. Dermatol	A novel point mutation of keratin 17 (KRT17) in a Japanese family with pachyonychia congenital type 2: an RNA-based genetic analysis using a single hair bulb 159, 730-732	津田 達也	皮膚科
J. Dermatol	Adult cutaneous alveolar rhabdomyosarcoma on the face diagnosed by the expression of PAX3-FKHR gene fusion transcripts 35, 462-467	中川 登	皮膚科
J. Pathol	A mouse model of a human multiple GIST family with KIT-Asp820Tyr mutation generated by a knock-in strategy 214, 302-311	中井 紀博	外科 肝・胆・膵外科
Hepat. Int	Adeno-associated virus vector-mediated production of hepatocyte growth factor attenuates liver fibrosis in mice 2, 80-88	鈴木 和大	外科 肝・胆・膵外科
Nat. Med	Interferon- γ is a therapeutic target molecule for prevention of postoperative adhesion formation 14, 437-441	小坂 久	外科 肝・胆・膵外科
Hepatol. Res	Hepatocyte growth factor gene transfer with naked plasmid DNA ameliorates dimethylnitrosamine-induced liver fibrosis in rats 38, 930-939	飯室 勇二	外科 肝・胆・膵外科
Surgery	Hepatocyte growth factor improves survival after partial hepatectomy in cirrhotic rats suppressing apoptosis of hepatocytes 144, 374-384	飯室 勇二	外科 肝・胆・膵外科
日本小児外科学会雑誌	シングルポート法による胎児鏡下バルーン気管閉塞術—妊娠羊を用いた実験的検討— 44,581-584	奥山 宏臣	外科 小児外科
日本小児呼吸器疾患学会雑誌	出生前診断された嚢胞性肺疾患に対する手術適応, 時期および術式に関する後方視的検討 19,36-40	奥山 宏臣	外科 小児外科
日本周産期・新生児医学会雑誌	早産児に多い小児外科疾患とその対応 44,833-836	奥山 宏臣	外科 小児外科
Int.J.Clin.Oncol	Surgery and adjuvant chemotherapy 13,193-195	笹子 三津留	外科 上部消化管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
外科治療	がん化学療法における外科医の役割 98, 450-455	笹子 三津留	外科 上部消化管外科
Int.J.Clin.Oncol	Recent advances in chemotherapy and chemoradiotherapy for gastrointestinal tract cancer : adjuvant chemoradiotherapy for gastric cancer 13,479-482	笹子 三津留	外科 上部消化管外科
日本外科学会雑誌	スキルス胃がんに対する新しいアプローチ 術前化学療法の臨床試験 109,128	笹子 三津留	外科 上部消化管外科
日本消化器外科学会雑誌	胃癌標準手術および拡大手術による術後障害の検討 411,032	笹子 三津留	外科 上部消化管外科
日本癌治療学会誌	胃癌標準手術および化学療法における施設間差解析 43,245	笹子 三津留	外科 上部消化管外科
Cancer Lett	Topoisomerase II alpha-positive and BRCA1-negative phenotype: association with favorable response to epirubicin-based regimens for human breast cancers 364,44-53	三好 康雄	外科 乳腺・内分泌外科
J.Cancer Res.Clin.Oncol	Low nuclear grade but not cell proliferation predictive of pathological complete response to docetaxel in human breast cancers 134,561-567	三好 康雄	外科 乳腺・内分泌外科
Clin.cancer Res	Prognostic significance of CD55 expression in breast cancer 14,4780-4786	三好 康雄	外科 乳腺・内分泌外科
Regul.Pept	Ghrelin accelerates gastric emptying via early manifestation of antro-pyloric coordination in conscious rats 146,112-116	塚本 潔	外科 下部消化管外科
World J.Surg.Oncol	Regression of sporadic intraabdominal desmoid tumour following administration of non-steroidal anti-inflammatory drug 6,17	田中 慶太	外科 下部消化管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本大腸肛門病学会	クローン病に対するPET検査の有用性の検討 61,303-310	池内 浩基	外科 下部消化管外科
炎症と免疫	その作用メカニズムと癌遺伝子治療への応用 16, 264-271	田中 文啓	呼吸器外科
Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg	Malignant mesothelioma: current status and perspective in Japan and the world 56, 317-323	長谷川誠紀	呼吸器外科
Therapeutic Research	COPDを合併した肺癌症例に対する肺葉切除術— チオトロピウム吸入の有用性— 29, 69-72	多久和輝尚	呼吸器外科
OS NOW Instruction	頸椎lateral mass screwing 6, 44-48	森山 徳秀	整形外科
関節外科	内側側副靭帯損傷に対するT-J screwによる靭帯再 建術 27, 1042-1047	奥野 宏昭	整形外科
脊髄機能診断学	頸椎flexion myelopathyにおけるMEPの経時的変化 29, 73-78	岡田 文明	整形外科
Hip joint	骨盤寛骨臼骨折術後のOAに対するTHAの経験 34, 418-421	西尾 祥史	整形外科
Orthopaedics	Assessment of accuracy of acetabular cup orientation in CT-free navigated total hip arthroplasty 31, 987	福西 成男	整形外科
最新泌尿器科診療指針	遺伝性疾患による尿路結石の成因と治療 321-324	島 博基	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochemi.Biophys. Res.Commun	Effects of adiponectin on growth and differentiation of human keratinocytes -Implication of impaired wound healing in diabetes 374,269-273	河合 建一郎	形成外科
J.Craniofac.Surg	Leteral orbital expansion and gradual fronto-orbital advancement: an option to treat severe syndromic craniosynostosis 19,1622-1627	西本 聡	形成外科
J.Plast.Reconstr. Aesrhet. Surg	A new model of end-to-side nerve graft for multiple branch reconstruction:end-to-side cross-face narve graft in rats 61,1357-1367	垣淵 正男	形成外科
J.Neurosurg	Phase II clinical trial of Wilms tumor I peptide vaccination for patients with recurrent glioblastoma multiforme 108,963-971	泉本 修一	脳神経外科
Brain Tumor Pathol	Immunohistochemical analysis of adhesion molecules and matrix metalloproteinases in malignant CNS lymphomas: a study comparing primary CNS malignant and CNS intravascular lymphomas 25,73-78	泉本 修一	脳神経外科
Neuroimage	Fractional anisotropy and tumor cell density of the tumor core show positive correlation in diffusion tensor magnetic resonance imaging of malignant brain tumor 43,29-35	泉本 修一	脳神経外科
Int. Urol. Nephrol	Diagnostic efficacy of free to total ratio of prostate-specific antigen and prostate-specific antigen velocity, singly and in combination, in detecting prostate cancer in patients with total serum prostate-specific antigen between 4 and 10 ng/ml 40, 85-89	山本 新吾	泌尿器科
兵庫医科大学医学会雑誌	泌尿器科領域における腹腔鏡下手術-3Dバーチャル画像の臨床応用- 33,67-71	山本 新吾	泌尿器科
今日の移植	腎移植後の悪性腫瘍とPTLDアンケートによる症例調査とスクリーニングの状況 21, 279-284	野島 道生	泌尿器科
泌尿器科紀要	CTガイド下針生検で診断し得た特発性後腹膜線維症の1例 54, 497-500	長井 潤	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Transplantation	Malignancy after kidney transplantation in Japan 86,698	野島 道生	泌尿器科
Transplantation	Malignancy in kidney transplant recipients in Hyogo prefecture, Japan 86,699-700	野島 道生	泌尿器科
日本泌尿器科学会雑誌	腎動脈病変の血管形成術における仮想血管内視鏡の有用性 99, 309	野島 道生	泌尿器科
日本泌尿器科学会雑誌	陰茎癌症例における臨床的検討 99, 465	丸山 琢雄	泌尿器科
日本泌尿器科学会雑誌	浸潤性膀胱癌に対する動注化学療法・動注化学療法併用放射線療法による膀胱温存の成績 99, 469	丸山 琢雄	泌尿器科
日本小児泌尿器科学会雑誌	小児尿路結石140例の臨床的統計 17, 83	樋口 喜英	泌尿器科
移植	腎移植後患者に発生した悪性腫瘍の検討—多施設症例の集計— 43, 277	野島 道生	泌尿器科
日本生殖医学会雑誌	精液所見からみた男性不妊症治療の効果についての検討 53, 268	近藤 宣幸	泌尿器科
日本癌治療学会誌	前立腺密封小線源永久挿入療法の初期治療成績 43, 712	上田 康生	泌尿器科
日本癌治療学会誌	ホルモン抵抗性前立腺癌に対するドセタキセル・エストラムスチン併用療法の治療成績 43, 719	鈴木 透	泌尿器科
眼科	ヒアルロン酸ナトリウムを分散安定化剤とするトラニラスト超微粒子懸濁液 50,455-459	岡本 紀夫	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurosci.Lett	Cilostazol promotes survival of axotomized retinal ganglion cells in adult rats 436,116-119	樫本 良亮	眼科
日本味と匂学会誌	「日常のにおいアンケート」を用いた嗅覚評価 15,277-280	都築 健三	耳鼻咽喉科
頭頸部癌	頭頸部領域内における多重扁平上皮癌症例の臨床検討 34,71-74	寺田 友紀	耳鼻咽喉科
Otol. Neurotol	Long-term hearing outcomes after ossiculoplasty in comparison to short-term outcomes 29, 326-329	三代 康雄	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx	Nizatidine enhances salivary secretion in patients with dry mouth 35, 224-229	任 智美	耳鼻咽喉科
Otol. Neurotol	The investigation of the recurrence rate of cholesteatoma using Kaplan-Meier survival analysis 29, 803-806	三代 康雄	耳鼻咽喉科
IVR	肺動静脈奇形に対するコイル塞栓術—治療成績と合併症を中心に— 23, 87-90	山本 聡	放射線科
Cardiovasc.Intervent.Radiol	Transcatheter coil embolization of splenic artery aneurysm 31,527-534	山本 聡	放射線科
Nihon Shoni Houshasen Gakkai Zasshi	The reversal sign on CT of hyper-acute diffuse traumatic brain swelling in an infant 24,73-77	石蔵 礼一	放射線科
臨床医薬	帯状疱疹患者の疼痛の経過に及ぼすバラシクロビル塩酸塩(バルトレックス)の効果 24, 321-335	村川 和重	ペインクリニック部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
慢性疼痛	帯状疱疹の長期予後を推測する 27, 67-71	中野 範	ペインクリニック部
CI療法 脳卒中リハビリテーションの新たなアプローチ	CI療法のわが国への導入 3-21	道免 和久	リハビリテーション部
CI療法 脳卒中リハビリテーションの新たなアプローチ	CI療法のメカニズムと検討課題 51-50	道免 和久	リハビリテーション部
CI療法 脳卒中リハビリテーションの新たなアプローチ	事例5:小児におけるCI療法の効果 116-130	竹林 崇	リハビリテーション部
CI療法 脳卒中リハビリテーションの新たなアプローチ	CI療法が変える日本のリハビリテーション医療 175-193	道免 和久	リハビリテーション部
総合リハビリテーション	新しい上肢運動機能評価法・日本語版Wolf Motor Function Testの信頼性と妥当性の研究 36, 797-803	道免 和久	リハビリテーション部
Biol.Blood Marrow Transplant	Unrelated umbilical cord blood transplantation using a TBI/FLAG conditioning regimen for adults with hematologic malignancies 14,896-903	藤盛 好啓	がんセンター
J.Gastroenterol	Gastroduodenitis associated with ulcerative colitis 43,193-201	堀 和敏	内視鏡センター
臨床細胞分子遺伝研究会	高齢者の遺伝カウンセリング	齋藤 優子	臨床遺伝部
J. Infect .Chemother	Guidelines for implementation of clinical studies on surgical antimicrobial prophylaxis 14, 172-177	竹末 芳生	感染制御部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biomed. Res	Possible involvement of put A gene in Helicobacter pyloricolonization in the stomach and motility 29,9-18	中嶋 一彦	感染制御部
日本外科感染症学会雑誌	病院全体を対象とした予防抗菌薬適正使用プロジェクトの実践.緑膿菌,メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の分離状況の変化 5, 107-114	高橋 佳子	感染制御部
日本外科感染症学会雑誌	心血管系外科領域手術における手術時予防抗菌薬としてのバンコマイシンの有効性の検討 5, 139-143	中嶋 一彦	感染制御部
Abstracts	Treatment experience of methicillin resistant staphylococcus aureus (MRSA) Infections undergoing hemodialysis (HD) 456	中嶋 一彦	感染制御部
Abstracts	Vancomycin(VCM)prophylaxis affected, but did not decreased the therapeutic use of methicillin-resistant staphylococcus aureus (MRSA) Drugs in cardiovascular surgery 465	中嶋 一彦	感染制御部
Abstracts	Impact of a hospital-wide heterogeneous antibiotic use on the development of antibiotic-resistant gram-negative organisms 480	竹末 芳生	感染制御部
Abstracts	Implementation of a hospital-wide project for appropriate antimicrobial prophylaxis 477	高橋 佳子	感染制御部
Abstracts	Therapeutic drug monitoring (TDM) does not work well to avoid moderate renal dysfunction in treatment with once-daily arbekacin for patients infected with MRSA 550	竹末 芳生	感染制御部
Abstracts	Teicoplanin(TEIC) lading dose for initial two consecutive days in the treatment of MRSA infections 551	竹末 芳生	感染制御部
Am.J.Gastroenterol	Dietary antigens in Croh'ns diseases:antibodies to porcine pancreatic amylase 103,654-664	福田 能啓	臨床栄養部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Shock	A role for IL-18 in Human Neutrophil Apoptosis 6,30	平田 淳一	救命救急センター
Am.J.Gastroenterol	Oral spherical adsorptive carbon for the treatment of intractable anal fistulas in Crohn's disease:a multicenter, randomized, double-blind,placebo-controlled trial 103,1721-9	福田 能啓	臨床栄養部
Helicobacter	Characterization and Application of a New Monoclonal antibody with High Specificity for Helicobacter hepaticus 14,66-71	福田 能啓	臨床栄養部

計 126件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 太城 力良
管理担当者氏名	管理課長 山口 勲、 医事課長 内藤 泰 病歴課長 由良 仁、 薬剤部長代行 西口修平

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約および入院診療計画書		管理課 病歴室 薬剤部	病歴資料のカルテは、入院カルテは1入院1カルテ、1患者1ファイル方式、外来カルテは科別カルテ方式とし、入院は永久保管、外来は8年間保管している、エックス線写真は、科別ファイル方式とし、入院、外来ともに8年間保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	/
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	管理課	
	高度の医療の研修の実績	管理課	
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	管理課 薬剤部	
確規保則の第9条の2、3及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	/
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	地域医療・総合相談センター	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部 管理課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学室		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 多田 宏幸
閲覧担当者氏名	管理課長 山口 勲、医事課長 内藤 泰、病歴課長 由良 仁
閲覧の求めに応じる場所	管理課会議室、病歴室閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	71.1%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	19,048人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	11,117人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	2,675人	
	D：初診の患者の数	35,098人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 23 及び第 1 条の 11 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (5名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (5) 名 兼任 (6) 名・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">① 安全管理体制の構築：委員会の運営、指針・マニュアルの改訂など② 医療事故を防止するための情報収集、分析、改善策の立案、フィードバック、評価③ 改善策実施のための各部門への依頼、調整、助言④ 安全管理対策の実施状況の調査、分析⑤ セーフティマネージャーの活動支援⑥ 医療安全に関する職員への教育・研修の実施⑦ 医療事故への対応：届出・公表を含む事故発生後の対応、事故の要因分析・再発防止策の検討及び立案、再発防止策の実施検証及び指導	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">I. 医療安全管理の体制確保のための委員会の組織規約<ul style="list-style-type: none">1. 医療安全管理規程2. 医療安全管理委員会規程3. 医療事故緊急対応部会内規4. 医療事故等検討部会内規5. 医療安全管理部運用内規6. 医療安全管理者の業務指針7. セーフティマネージャーの設置及び業務規程8. 報告書類等<ul style="list-style-type: none">① 事故等報告範囲 (日本医療機能評価機構への報告)② 医療事故ならびにインシデントの影響レベル (報告時点)③ 事実関係報告書④ 診療経過報告書⑤ 医療事故報告書 (日本医療機能評価機構用)⑥ 事故発生届出書⑦ セーフティマネージャー選出届⑧ セーフティマネージャー変更届	

- ⑨ 任命書
- ⑩ 通知書
- ⑪ 医療事故発生時の対応方法

II. 当院における医療安全管理体制図

- (1) 医療事故・インシデント発生時の体制図
- (2) 医療事故発生時の連絡網
- (3) 医療事故発生時の対応フローチャート（セイフティマネージャー・所属長）
- (4) 医療事故発生時の対応フローチャート（発見者・当事者）
- (5) 院内救急医療体制
- (6) インシデントレポートの流れ
- (7) 患者が死亡した場合の死亡後の手順
- (8) アクシデント発生時の対応

III. 医療事故を起こした職員・当該部署職員への心理的支援について

IV. 大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 25 回
-------------------------	--------

・ 活動の主な内容：

- ① 医療安全管理委員会 12 回
- ② セイフティマネージャー連絡会 6 回
- ③ 医療事故等検討部会 2 回
- ④ 病院長・医療安全管理委員会コアメンバー会議 5 回

① 医療安全管理委員会の開催状況

<平成 20 年 4 月 8 日> [②セイフティマネージャー連絡会 平成 20 年 4 月 15 日開催]

- ・ インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討
- ・ 医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・ 平成 19 年度 医療安全管理室 活動評価について
- ・ 平成 20 年度 医療安全管理室 活動計画について
- ・ 造影検査前のビグアナイド類糖尿病薬の検討ワーキングの中間報告
- ・ 薬剤情報に関する患者へのお願いについて
- ・ 医療安全ニュースのグループウェア活用について
- ・ 患者同士のトラブル対応について
- ・ 同意書の内容不備について
- ・ 大量出血時の緊急対応について
- ・ 感謝状の配布について

<平成 20 年 5 月 13 日>

- ・ インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討

- ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・医療機器に関連したインシデントの分析について
- ・CVルート挿入時の合併症発生率の報告について
- ・待機的造影検査前のビグアナイド類糖尿病治療薬の内服中止についてのワーキング報告について
- ・医薬品投与に関する「PVCフリールート使用」「ポリカーボネート製器具の使用時注意」の情報表示について

<平成 20 年 6 月 3 日> [②セイフティマネージャー連絡会 平成 20 年 6 月 17 日開催]

- ・医療事故等検討部会運用内規の改訂及び治験センター・セイフティマネージャーの委任について
- ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討
- ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・CVルート挿入時の合併症発生率の報告について
- ・医療安全全国共同行動への登録について
- ・画面における造影検査チェック項目の追加について
- ・医療機器のインシデント対策講習について

<平成 20 年 7 月 8 日>

- ・インシデント及び手術関連インシデントの調査報告について
- ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・医療事故発生後の対策についての検証報告
- ・「医療安全管理のための指針」改訂の検討について
 - 1) 医療事故・インシデント発生時の体制図、医療事故等検討部会内規の改訂
 - 2) 医療事故発生時の対応フローチャート、事実関係報告書の提出について
- ・造影検査における業務の変更について
- ・オンラインインシデント検討会について
- ・医療安全全国共同行動「キックオフフォーラム in 関西」の進行状況について
- ・患者プロフィール「医療安全課」ボタンの入力について
- ・氏名不明である患者の対応について
- ・次回の医療安全管理委員会、開催案内について

<平成 20 年 8 月 5 日>

- ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討
- ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・医療事故等検討部会報告について
- ・平成 20 年度 「医療安全管理のための指針」「医療事故防止スタンダードマニュアル」の改訂について
- ・医療安全全国共同行動「キックオフフォーラム in 関西」について
- ・医療安全ニュースの回覧について

<平成 20 年 9 月 16 日> [②セイフティマネージャー連絡会 平成 20 年 9 月 16 日開催]

- ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討
- ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・平成 20 年度 「医療安全管理のための指針」「医療事故防止スタンダードマニュアル」の改訂について
- ・平成 20 年度 医薬品安全使用のための業務確認について
- ・医療安全強化月間の報告について
- ・当院のポリ塩化ビニール製 点滴チューブ類の安全面について
- ・平成 20 年度 医療監視及び近畿私大相互ラウンドについて
- ・医療講演会への参加、医療安全ニュースなどの安全情報の配信
- ・インシデントレポートの確認
- ・オンラインインシデント検討会の担当表について
- ・医薬品安全管理研修会の報告
- ・医療機器の再新について

<平成 20 年 10 月 7 日>

- ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討
- ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・平成 20 年度 「医療安全管理のための指針」「医療事故防止スタンダードマニュアル」の改訂について
- ・平成 20 年度 「医薬品の安全使用のための業務手順書」の改訂について
- ・AED、DC 設置場所の再検討について
- ・腰椎穿刺の同意書について
- ・医療監視について

<平成 20 年 11 月 4 日> [②セイフティマネージャー連絡会 平成 20 年 11 月 18 日開催]

- ・医療安全管理委員会規程の改訂について
- ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討
- ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・平成 20 年度 「医療安全管理のための指針」「医療事故防止スタンダードマニュアル」の改訂について
- ・医療監視について
- ・近畿私大医療安全相互ラウンドについて

<平成 20 年 12 月 2 日>

- ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討
- ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・平成 20 年度 医療監視結果報告について
- ・平成 20 年度 近畿私大医療安全相互ラウンドについて
- ・術前指示票の改訂について

<p><平成 21 年 1 月 13 日> [②セイフティマネージャー連絡会 平成 21 年 1 月 26 日開催]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討 ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について ・ポリ塩化ビニール製の経管栄養関連製品の安全性について ・医薬品の販売名の類似性等による医療事故防止対策の強化・徹底について ・注射処方箋の記載（表示）方法について ・医療安全全国共同行動「患者・市民の医療参加」について ・術前指示票の改訂について <p><平成 21 年 2 月 3 日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討 ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について ・医療機器・医薬品安全管理責任者の業務について ・医療事故発生後の検証報告について <p><平成 21 年 3 月 3 日> [②セイフティマネージャー連絡会 平成 21 年 3 月 17 日開催]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討 ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について ・持参薬ワーキングの報告について ・平成 21 年度 医療安全管理委員会の運営について ・不妊治療について ・日本医師会「医療安全推進者養成講座」受講申込者について <p>③ 医療事故等緊急対応部会の開催状況</p> <p><平成 20 年 10 月 6 日、平成 21 年 3 月 4 日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療事故報告の対応について <p>④ 病院長・医療安全管理委員会コアメンバー会議の開催状況</p> <p><平成 20 年 6 月 19 日、8 月 14 日、10 月 6 日、平成 21 年 1 月 29 日、3 月 18 日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療事故等報告の対応について 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 38 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p><平成 20 年 5 月 28 日></p> <p>テーマ 「もう一度考えよう医療の安全と質！…必要な発想の転換」</p> <p>講師：日本医科大学 医療管理学 教授 長谷川 敏彦</p> <p>ビデオ補講計 7 回（平成 20 年 6 月 9 日 2 回、6 月 10 日 2 回、6 月 11 日 1 回、6 月 12 日 1 回、6 月 13 日 1 回）</p> <p><平成 20 年 10 月 23 日></p> <p>テーマ 「院内暴力について」</p> <p>講師：井上法律事務所 弁護士 井上 清成</p>	

<平成20年10月29日>

テーマ 「麻薬の適正な取扱いについて」

講師：兵庫医科大学病院 薬剤部 濱口 常男

テーマ 「スタンダードプリコーションの徹底 -新しいガイドラインから-」

講師：兵庫医科大学病院 感染制御部 一木 薫

ビデオ補講計6回（平成20年11月4日1回、11月5日2回、11月6日2回、
11月7日1回）

<平成21年2月18日>

テーマ 「患者と医療者を結ぶコミュニケーション」

講師：東京医科歯科大学大学院 医療政策講座

元ジョンズ・ホプキンス大学病院 国際部パーシエント・アドバイザー
ヘルスケア・コミュニケーション・スペシャリスト 岡本 左和子

ビデオ補講計8回（平成21年2月23日2回、2月24日2回、2月25日2回、
2月26日2回）

<平成20年10月14日>

テーマ 「医療訴訟ガイダンス」

講師：神戸地方裁判所 裁判官 角 隆博 他6名

ICLS実習（卒後臨床研修センターコース、看護部コース）

5月31日（土） 受講者 15名

6月22日（日） 受講者 15名

9月13日（土） 受講者 17名

10月11日（土） 受講者 17名

11月16日（日） 受講者 17名

12月 6日（土） 受講者 17名

2月11日（水） 受講者 18名

BLS講習会

6月12日（木） 13日（金）平成20年度新規採用看護師 122名

9月25日（木） 26日（金）平成19年度中途採用看護師 16名

3月13日（金） 平成20年度中途採用看護師 21名

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・ 医療機関内における事故報告等の整備 （ ・ 無 ）

・ その他の改善のための方策の主な内容：

① 発生したインシデントに対して、統括・専任セイフティマネージャーが発生部門セイフティマネージャーとともに内容分析、改善策の検討並びに患者への対応の指示を

行なっている。また、医療安全管理委員会委員及びセイフティマネージャーから構成される「オンラインインシデント検討会」を毎週開催し、各部門に改善策の指示を行なうことにしている。なお、必要に応じて「医療事故等検討部会」を開催し、医療事故等の原因を分析し、改善策の検討を行なっている。

- ② 報告のあった医療事故に対し、医療安全管理委員会等で原因を分析し、対応・改善策の検討を行っている。また、事故発生1ヵ月後・3ヵ月後に統括・専任マネージャーと当該部署のセイフティマネージャーで、改善策の実施状況を検証し、医療安全管理委員会に報告している。
- ③ 発生したインシデント・アクシデント内容からテーマを設定し、医療安全強化月間に各部署のセイフティマネージャーと協働して、カルテ監査・カンファレンスなどを行っている。
- ④ 事故後の改善策や医療安全情報が全部署のスタッフに周知できているかを検証する目的で、年1回、医療安全管理委員・セイフティマネージャーが多職種でチームを組み、全部署の相互ラウンドを行っている。
- ⑤ 医療安全ニュースを月2回発行し、事故後の改善策を再周知している。
- ⑥ 職種別研修でも当院で発生したインシデント・アクシデントを教材にしている。

<具体的方策>

- ① 医療事故防止スタンダードマニュアルの見直し
- ② 造影検査前のビッグアナイド類糖尿病薬の内服中止の説明と同意書作成
- ③ ポリ塩化ビニール製（可塑剤 DEHP）輸液ラインの変更
- ④ 名称類似薬の一部切り替え
- ⑤ CVカテーテル挿入に関する調査票の改訂
- ⑥ 持参薬ワーキングにて術前中止薬剤のリストを作成
- ⑦ 術前指示票の改訂（継続中） など

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>① 感染管理体制（感染管理機構、専任感染管理担当者の役割について、感染制御部へのコンサルテーション）</p> <p>② 感染症発生時の報告と解除（院内で取り決めている報告すべき感染症の発生時の報告（緊急連絡を要する微生物検出時含む）、感染症法に基づく届出及び院内の感染症報告書が必要な疾患、感染解除報告）</p> <p>③ 病院感染管理上重要な病原体・感染症に対する感染制御部の対応</p> <p>④ アウトブレイク発生時の対応</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>病院感染対策に関する事項を調査・審議し、院内感染発生時の原因の分析、改善策の立案、実践、周知等感染管理を推進している。なお、必要があるときには臨時で開催する。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 34 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>病院感染制御に対する基本的な考え方及び具体的施策の周知、業務を遂行するうえでの知識・技能の向上及び病院感染制御に対する意識の高揚を目的として、教育・研修を実施している。</p> <p>① 病院感染制御をテーマとする講演会を開催（全職員対象と臨床研修医対象）</p> <p>② 看護師ラダーレベル別研修、リンクナースを対象とした感染制御に関する研修を実施</p> <p>③ 臨床工学技士、薬剤師等コメディカルを対象とした感染制御に関する研修を実施</p> <p>④ 清掃職員（委託業者）を対象とした病院感染制御の基本について研修を実施</p> <p>⑤ 院内感染の増加が疑われた場合、または確認された場合は、施設全体または部署や職種を限定して院内感染対策に関する教育・指導を実施</p> <p>⑥ 手洗い実技指導（各部署）</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （☑・無）</p> <p>感染症発生時は「院内で取り決めている報告すべき感染症の発生時の流れ」に沿って感染症報告書により報告を行う。（緊急連絡を要する場合は先に電話で連絡）感染症が改善した場合は「感染解除報告」に沿って感染症解除報告書を提出する。</p> <p>報告すべき感染症は、感染症新法、結核予防法、食品衛生法にもとづく疾患および院内感染管理上迅速に対策を行う必要があるものとする。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>感染症発生にかかる報告、連絡があった事例は、「感染症または病原体の検出種類によるレベル分類」に基づき感染制御部が対応し、必要があれば感染対策委員会で審議しついで対策を講ずる。</p> <p>また、アウトブレイクを疑う事例が発生した場合、「アウトブレイク発生時の対応」に基づき対応し、アウトブレイクの可能性が高いと判断した場合、感染制御部は感染対策委員会委員長に報告し、臨時の委員会を開催し対策を協議する。</p> <p>患者個々の抗菌薬治療に関して、主治医からのコンサルテーションにより感染制御部と協議する。</p> <p>抗緑膿菌活性を有するカルバペネム系、ニューキノロン系、第4世代セファム、βラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン、その他の各抗菌薬の使用量をAUDで調査し、使用割合を各10～20%でコントロールし、抗菌薬の適正使用を推進する。</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： (研修医科エンターション)：医薬品の適正使用と医薬品の安全使用のための業務手書について説明 (平成20年4月4日実施) (病院全職員対象講演会)：「麻薬の適正使用について」と題して講演(平成20年10月29日実施) ⇒麻薬関連事故と訴訟の実態および麻薬の適正使用の重要性と業務手順書についての内容説明 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (☑・無) ・ 業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 病院で用いる医薬品の採用・購入に関する事項 2. 医薬品の管理に関する事項 3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 4. 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項 6. 他施設との連携に関する事項 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況：	
<p>原則4病棟に1カ所の病棟薬局を設け、薬剤管理指導業務を実施。原則として薬剤師が月1回全ての診療科・病棟を訪問し医薬品の点検管理を行っている。また、院内全施設を対象に医薬品の安全使用のための業務手順書の遵守状況を自己点検している。毎月D I ニュースを発行している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容：医薬品情報担当者から各社の医薬品情報の変更内容等の資料及び説明を受けている。インターネット等を利用して医薬品情報の入手に努めている。また、J A P I Cと契約し、定期的に医薬品情報を入手している。 ・ 院内医薬品集を定期的に発行する(平成20年7月 医薬品集第11版発行)とともにし、学内イントラネットを通じて院内医療従事者に情報提供している。また、特に注意を要する医薬品については「要注意医薬品の取扱手引き」をまとめて使用者に注意を喚起している。さらに、病棟薬局の薬剤師を通して緊急安全性情報等について関連の診療科・医師に提供している。 ・ 病棟薬局及び薬剤部製剤室にて薬剤師が注射薬の混合調製業務を担当し、がんセンターでは薬剤調製室を設置し、医師と連携しレジメン及び薬歴の点検後に抗がん剤の調製業務を実施している。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年41回
<p>・ 研修の主な内容： 以下の機器の取り扱い方法・安全対策について研修を行った 人工呼吸器・ペースメーカー・血液浄化装置・除細動器・補助循環装置・輸液ポンプ・シリンジポンプ 放射線機器 等</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (☑・無) ・ 保守点検の主な内容： 以下の装置に対しては定期点検を実施している 人工呼吸器・血液透析装置・血液浄化装置・補助循環装置・保育器・麻酔器・体外式ペースメーカー 輸液ポンプ・シリンジポンプ・除細動器・電気メス</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： AED日常点検の依頼 輸液ポンプの事故に対する情報提供 スピーチカニューレを誤接続防止タイプに変更</p>	